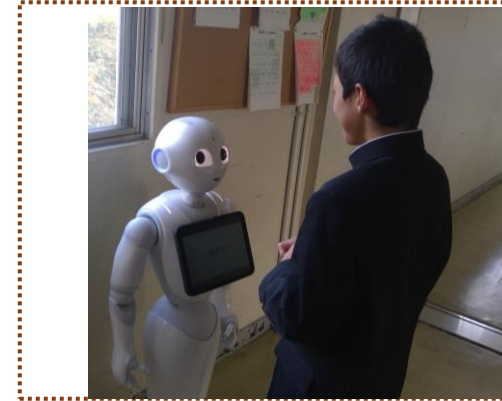


Kakegawa Edison 2 Japan, Chūbu; Italy, Rome



Point of Robot Performance

私たちはこの問題を解決するために、会話が
でき、本を借りたり、人を本棚に案内し本を
返却したりするのに役立つロボットを作りたい
と考えました。また、Pepperは人型ロボッ
トであり、人間とさほど変わらないので、子
供たちの成長において十分なきっかけになる
だけでなく、顔認識技術を使って接触を制限
することもできます。pepperはコスト(消費
電力)に対するパフォーマンスがとても高いた
め、人件費を大幅に削減することもできま

Team
Introduction

私たちが解決したいと考えている問題は、このような困難な時代において重要な問題であり、感染拡大を防ぐために人間同士の接触をできるだけ減らすことです。しかし、他者との関わりをへらす事は子どもたちの人間性の成長を妨げてしまうことになりかねません。図書館はこのような問題が起こる場所であり、私たちはそれを阻止したいと考えました。

私たちはこの問題を解決するために、会話ができ、本を借りたり、人を本棚に案内し本を返却したりするのに役立つロボットを作りたいと考えました。また、Pepperは人型ロボットであり、人間とさほど変わらないので、子供たちの成長において十分なきっかけになるだけでなく、顔認識技術を使って接触を制限することもできます。pepperはコスト(消費電力)に対するパフォーマンスがとても高いため、人件費を大幅に削減することもできます。

1. Lucas Vilaronga Matheus
2. Andrei Valentin Chircu
3. Daniele Marzi Santoro
4. Daniele Guadagno
5. Valeria Gentile
6. Cesar Junior De Torres Munoz
7. 横井怜
8. 川合央将



【メンター1情報】氏名：Paola Ferrarelli/ 所属：Liceo Scientifico Statale Asristotele/ 電子メールアドレス: paola.ferrarelli@yahoo.it

【メンター1情報】氏名：内山優輝/ 所属：掛川東中学校 / 電子メールアドレス: 00526829@ed.kakegawa-net.jp